

振とうを止めずに濁度(OD₆₀₀)を 非接触モニタリング。BR/NRシリーズ と組み合わせて使用します。

振とう機

特長

- 庫内で濁度を非接触モニタリング(特許)
- 試験管一本、三角フラスコごとに測定・記録
- 国内外170超の研究期間で実績

用途

- 有用菌株の検討やスクリーニング[C&T]
- 増殖曲線取得の省力化
- サンプルングによるバックグラウンドの軽減

*特徴、用途は右ページのB&Lと共通



培養しながら非接触で培養液のODが測定できるよ。振とうを止めず
容器のフタも開けないので、ガス環境の変化といった
サンプリング操作由来の代謝変動も気にせずに済むんだ。



OD-Monitor A&S
(ODSensor-S 2台接続例)



OD-Monitor C&T



大型BRへの
設置例

培養における濁度測定を省力化

大腸菌等の培養液の濁度を、非接触で自動測定します。
恒温振とう培養機BRシリーズや、振とう機NRシリーズ
と組み合わせて使用します(他社の振とう機は使用不可)。

PCでの記録について

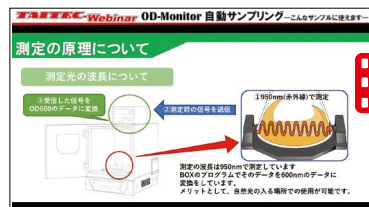
振とう培養中にOD₆₀₀を自動測定/記録。手作業で必要
な振とうの停止やキャップの開閉が不要です。
データはPCへの自動記録も可能です。



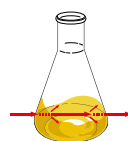
USB端子にメモリーでのデータ出力、および
WindowsPCにて培養中のデータのリアルタイムのグラ
フ化が可能です。
PC用のソフトウェアOD-Viewerはフリーソフトとなり
ます(ダウンロードおよびセットアップ方法につきまして、
詳しくはお問い合わせください)。

ウェビナー： OD-Monitor シリーズ

OD-Monitorシリーズの測定原理、使用できる菌種・培
地・容器の種類などの条件についてご紹介。



小スケールの三角フラスコ 発現検討で(A&S)

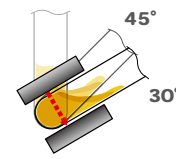


三角フラスコの透過光



OD-Monitor A&S+BR-43LF

試験管でスクリーニングや 発現検討で(C&T)



試験管の透過光



OD-Monitor C&T+BR-23FP

型名	OD-Monitor A&S	OD-Monitor C&T
測定方式/範囲	透過光方式、OD ₆₀₀ =0.00~2.55	透過光方式、OD ₆₀₀ =0.00~2.55
適用容器 および必要液量	ガラス製三角フラスコ: 100/200/300/500mL 液量: 20/40/60/100mL	ガラス製試験管: φ16.5/18.0mm 液量: 5mLまたは10mL
振とう方法	旋回振とう	往復振とう
振とう条件	80~400r/min (振幅25mm) 80~200r/min (振幅30/40mm) 80~250r/min (振幅50mm)	100~250r/min (振幅25/50mm) 試験管角度90/45/30°
測定間隔/チャンネル数	1/5/10/30/60/120/240min、1~8チャンネル(A&S)/1~8チャンネル(C&T) (*1)	
測定可能温度範囲	+15°C~+50°C (*2)	
その他の機能	指定ODでアラーム、分光光度計値への合わせこみ、USBメモリ記録(CSV形式)	
本体質量	1.9kg (ODBox-A)、0.2kg (ODSensor-S)	1.9kg (ODBox-C)、1.2kg (ODSensor-T)
価格(*3)	ODBox-A: ¥250,000 ODSensor-S: ¥65,000 (1台)	ODBox-C: ¥277,000 ODSensor-T: ¥248,000
電源	100~125V 0.1A	
ODBox付属品	フラットケーブル(2m)×1 (A&Sのみ)	
ODSensor付属品	フラスコパッド大小各1、フラットケーブル(0.5m)×1	マグネットアダプター 2種各1、フラットケーブル(2m)×4

(*1) A&Sは、ODSensor-S1台で1チャンネルです。複数の試料を測定する場合はODSensor-Sを必要数お求めください。C&TはODSensor-T1台で8チャンネルとなっており、ODBox-CにはODSensor-Tが1台接続できます。なお、組み合わせるバイオシェーカーの大きさによっては最大チャンネル数のODSensorが取り付けできない場合があります(下記参照)。(*2) 使用環境温度範囲はOD-Sensor: +4°C~+50°C、OD-Box: +15°C~+35°Cです。(*3) A&Sでは容器固定に別売のツメクランプが必要です。またOD-Sensorはバイオシェーカーのツメクランプ振とう台に固定します。

A&S/B&Lは取り付け可能数が測定数となります。
C&Tは取り付け可能数×8が測定数となります。

BRシリーズのODSensor取り付け可能数

BRシリーズ	振とう台	Sensor-S	Sensor-L	Sensor-T (*1)
BR-2Xシリーズ	MT-2925	3	1	2 (16本。Boxは2個)
BR-40 (*2) /41/42/43/53	MT-4030	5	2	3 (24本。Boxは3個)
BR-330	MT-6040	8	4	5 (40本。Boxは5個)
G-BRシリーズ	MT-7050	16 (Boxは2個)	5 (Boxは2個)	12 (96本。Boxは12個)
BR-3300シリーズ	MT-8060	20 (Boxは3個)	8 (Boxは2個)	14 (112本。Boxは14個)

(*1) 角度45°時。(*2) BR-40ULは三角フラスコ2Lまで。

更に詳しい情報は QR コードまたは <https://taitec.info/2026b/46> にて

●ウェビナー OD-Monitor シリーズ ●PCでの記録について、分光光度計とのズレを補正する手順

●『バイオシェーカー BR』シリーズ→ P.026 ~ 045 ●振とう機『NR』シリーズ→ P.080 ~ 085